

# 2021年度 事業報告および会計報告



特定非営利活動法人  
市民社会  
サポートやまがた

## I. 2021 年度活動報告

### 1. 活動のまとめ

初年度である 2021 年度は、つながりのある団体への個別支援を中心に、相談・コンサルティング事業を行うこと、情報収集・提供事業、研修及び人材育成・ネットワークづくり事業、しくみづくり事業を実施し、団体の活動基盤を整えることを目標に活動しました。

支援のかたちを模索した 1 年となりましたが、伴走支援では、組織内外の組織基盤強化、伴走団体が事業へのチャレンジや課題解決の主体的な取り組みをサポートすることなどができました。

NPO 等が抱える活動の問題は、個別化・多様化し、課題が共通する公約数の幅が狭くなっています。それぞれの団体・地域の状況に合わせた個別支援の必要性を感じたことが、市民社会サポートやまがたをつくったきっかけの一つです。

その目的を果たすため、相談対応、資金調達や法人運営、プロジェクトの遂行、バックオフィスの支援、住民主体の学びの場の実施などの様々なテーマのサポートを行いました。

また、組織評価、組織伴走なども連携団体と行い、経験や実績を積むこともできました。

これらを行う中で、ガバナンス、コンプライアンスの重要性を感じ、今後は、山形にも広げていく必要性を感じます。

さらに対話の場づくりやワークショップを地域の支援組織と行えたことは、地域住民の学びの場から、地域ニーズを拾い、次の事業に活かすことにつながるなど、市民社会サポートやまがたも学びが多い事業でした。

活動しながら試行錯誤を重ね、地域や組織に寄り添った中間支援というスタイルにチャレンジする年となりましたが、今後の方向性を考える上でも重要な経験となりました。

### 2. 事業実施に関する事項

#### 1) 特定非営利活動に係る事業

##### ①相談・コンサルティング事業

NPO 活動に関する個別相談・コンサルティングを実施する。(定款 5-1-1)

##### a. 相談事業

種別	自主
内容	1.NPO 法人の設立・解散、運営・会計・法務・助成金の申請等について対応した 2.自分の力を地域や社会に役立てたい人などの相談そのとき限りの課題解決ではなく、各主体の課題解決力を高めることに主眼を置きサポートする。
件数	32 件
成果	・設立に関する相談が多く、次に NPO 法人の役員に関すること、総会時に関すること、会計についての相談が多かった。「やまがた NPO 事務支援センター」を設置した。複数の団体より、問い合わせや依頼を受けることができた。 また、パワーハラスメントなど、人間関係に関する相談があった。NPO 法人のガバナンスの問題が背景にある相談もあり、県外の専門性のある団体と連携し、対応できた。 ・社会貢献を考えている方からの相談も多かった。人生 100 年時代となり、自分の人

	生を豊かに暮らしたい、自分の持つ資源を人のために役に立てたいと考えている人も一定数いて、参画・運営の方法などを提供できた。
課題	まだ認知度が低い。相談対応について専門性が必要な相談もあることから、専門家との連携を整えていく必要がある。 新しいチャレンジや、困りごとにたいして丁寧に対応すること、困った時に頼れる存在となるために、「やまがた NPO 事務支援センター」の認知度を高めていく。

## b.組織伴走支援

種別	自主
内容	伴走型中間支援を行った。課題解決のためのコーディネーター、ファシリテーターとしての伴走者として、解決したい課題にフォーカスし、個別支援を中心とした取り組みを行うことで、課題解決までのサポートと安定化までの継続的な支援につなげる。
件数	3 団体
成果	単にアドバイスや指導を行うのではなく、ともに知恵を絞り、汗をかいて実務に取り組む「伴走型」という姿勢を大切に取り組みました。職員へのヒアリングや理事会への同席など丁寧なコミュニケーションを基礎に確実な取り組みを行えた。
課題	事業・活動とともに問われる、信用と信頼。組織の継続性と資質を見直すことが、組織基盤強化と考えサポートしていく。そして、次の一步を踏み出すために、必要なものは何か、提案するだけでなく、新しい気づきを促すことも伴走者の役割を強化していく。

## ②情報収集・情報提供事業

資金調達、NPO 法人制度・NPO の運営等についての情報を資料やブログ、SNS で提供する。(定款 5-1-2)

種別	自主
内容	活動の状況などの情報をウェブサイト上で公開する。 各主体の活動の基盤となる情報を集め、わかりやすい形で公開することを目指す。団体運営に役立つ情報、イベント・市民社会サポートやまがたに関する情報を掲載する。
媒体	ホームページ・Facebook
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを開設したことで、サポやまがどんな団体で、どんな活動をしているのかを知らせる機会となり、信用性が高まった。</li> <li>活動の様子を Web で発信したことで、新しい取り組みにつながった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信は、団体の活動の認知、信用性を担保する上で、重要な要因だが、認知度の高まりにはつながっていない。今後、さらに精度を高めていく必要がある。</li> <li>情報発信は、サポやまの活動が中心で、活動を行う団体への情報が少なかった。今後は、情報収集に努め活動に役立つ情報を求めている人に対し、情報を届けていく。そのための仕組みを作っていく。</li> </ul>

### ③研修及び人材育成・ネットワークづくり事業

人材育成等の研修会の実施。(定款 5-1-3)

種別	自主
内容	1/9 市民活動を話す新年のつどい 参加者 11名 3/21 市民活動見たり聞いたり話したり「ゲートキーパーを学ぶ」参加者7名
件数	2回
成果	感染症の影響もあったが、1月は会員と関係者向け、3月に市民向けに対面での講座を実施した。オンライン開催も多くなる中、感染対応を行い、対面で開催することで、コミュニケーションが進み、参加者の満足度も高かった。
課題	感染症の影響により、オンラインでの実施を検討したが、実現しなかった。また、県外の団体が、助成プログラム、組織基盤強化のための講座等も多く配信していることから、差別化したサポやまらしい、地域に特化した講座づくりが求められる。

### ④しくみづくり事業

地域内でNPOへの資源提供のしくみの基盤をつくる。(定款 5-1-4 定款 5-1-5)

種別	自主
内容	・エコシステムづくりに向けた、取りくみ。 ・ベーシックガバナンス評価、グットガバナンス評価のサポート ・やまがたNPO事務支援センターの設立
成果	資金仲介と組織支援の仕組みやガバナンス、団体の組織基盤強化により団体の成長を促進、既得権域に頼らなくても市民の自発的な活動が進むために市民公益団体の基盤強化や再構築できる仕組みづくりにチャレンジした。全国で取り組んでいる組織と連携し、協働できる仕組みづくりの基盤を作ることができた。
課題	市民社会のエコシステムを確立することで、寄付で地域を支える文化が醸成され、地域課題に取り組む団体・個人が増え地域課題の解決につながることでつなげられる事業を増やしていく。寄付文化が育っていないことも課題である。寄付をする、受けることに慣れていない現状があり、寄付に対する抵抗感を失くすことも必要だ。

## 3. 組織運営

1. 会員正会員 12名 賛助会員 2名

## 2. 総会開催

(1) 設立総会 2021年9月20日

審議事項 (

1) 議長選任の件 2) 設立趣旨書及び確認書に関する件 3) 定款に関する件 (

4) 役員に関する件 5) 事業計画及び活動予算に関する件 6) 入会金及び会費に関する件

7) 事務所の所在地に関する件 8) 設立代表者選任に関する件

### 3.理事会開催

- 第1回 2021年11月21日(日)
- 第2回 2022年1月9日(日)
- 第3回 2022年3月21日(月)
- 第4回 2022年4月22日(月)

### 4. ボランティア・寄付

#### ・ボランティア活動

今年度の活動は、ボランティア活動により実施した。

ボランティア活動は、のべ60名 507時間となった。

#### ・寄付金(会計報告参照)

4名の方から寄付をいただきました。いただいた寄付は、事業運営に使わせていただいた。

### 5. その他

#### ・講師派遣

ファシリテーターの派遣 戸沢村社会福祉協議会 住民主体の地域福祉づくり研修会  
東根市地域包括支援センター 住民主体活動の研修会

#### ・委員など

山形県社会福祉審議会委員 2021年4月から2022年3月まで(石山)

山形市働く女性の家運営委員会 委員 2022年4月から現在(石山)

### Ⅲ. 会計報告

別紙参照

法人名： 特定非営利活動法人市民社会サポートやまがた

## 活動計算書

令和3年 11月 1日 ~ 令和4年 5月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	55,000		
賛助会員受取会費	10,000	65,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	288,000		
		288,000	
3. 受取助成金等			
	0		0
4. 事業収益			
	0		0
5. その他収益			
雑収益	0		0
<b>経常収益計</b>			353,000
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
通信運搬費	2,318		
地代家賃	80,000		
印刷製本費	0		
消耗品費	7,250		
旅費交通費	41,896		
水道光熱費	17,424		
<b>その他経費計</b>	148,888		
<b>事業費計</b>		148,888	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
通信運搬費	510		
地代家賃	80,000		
諸会費	10,000		
消耗品費	1,258		
水道光熱費	17,425		
租税公課	32,750		
支払手数料	1,320		
<b>その他経費計</b>	143,263		
<b>管理費計</b>		143,263	
<b>経常費用計</b>			292,151
当期正味財産増減額			60,849
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			60,849

法人名： 特定非営利活動法人市民社会サポートやまがた

## 貸借対照表

令和4年 5月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	60,849		
流動資産合計		60,849	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			60,849
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額			
正味財産合計			60,849
負債及び正味財産合計			60,849

財産目録

令和4年 5月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	9,949		
山形銀行寿町支店	50,900		
流動資産合計		60,849	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			60,849
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			60,849



## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準(2010年7月20日2017年12月12日最終改正 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

#### (1)

##### 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2. 固定資産の増減内訳

該当する取引はありません。

### 3. 借入金の増減内訳

該当する取引はありません。

### 4. 寄付の状況

(単位 円)

科 目		財務諸表に計上された金額	備 考
受取寄付		288,000	5人(延べ7件)
内	役 員	260,000	3人(延べ5件)
	3千円以上の記名寄付	28,000	2人(延べ2件)
訳	使途指定寄付	0	0件